

23 白石八幡宮

石清水八幡宮を勧請した社(白石376)



白石八幡宮

住 所 岡山市北区白石376番地

主祭神 応神天皇・神功皇后・玉依姫尊・武内宿禰

建 物 本殿・拝殿・幣殿

境 内 121.4坪(約400㎡)

例 祭 春、秋(10月22日)

総 代 板野英資

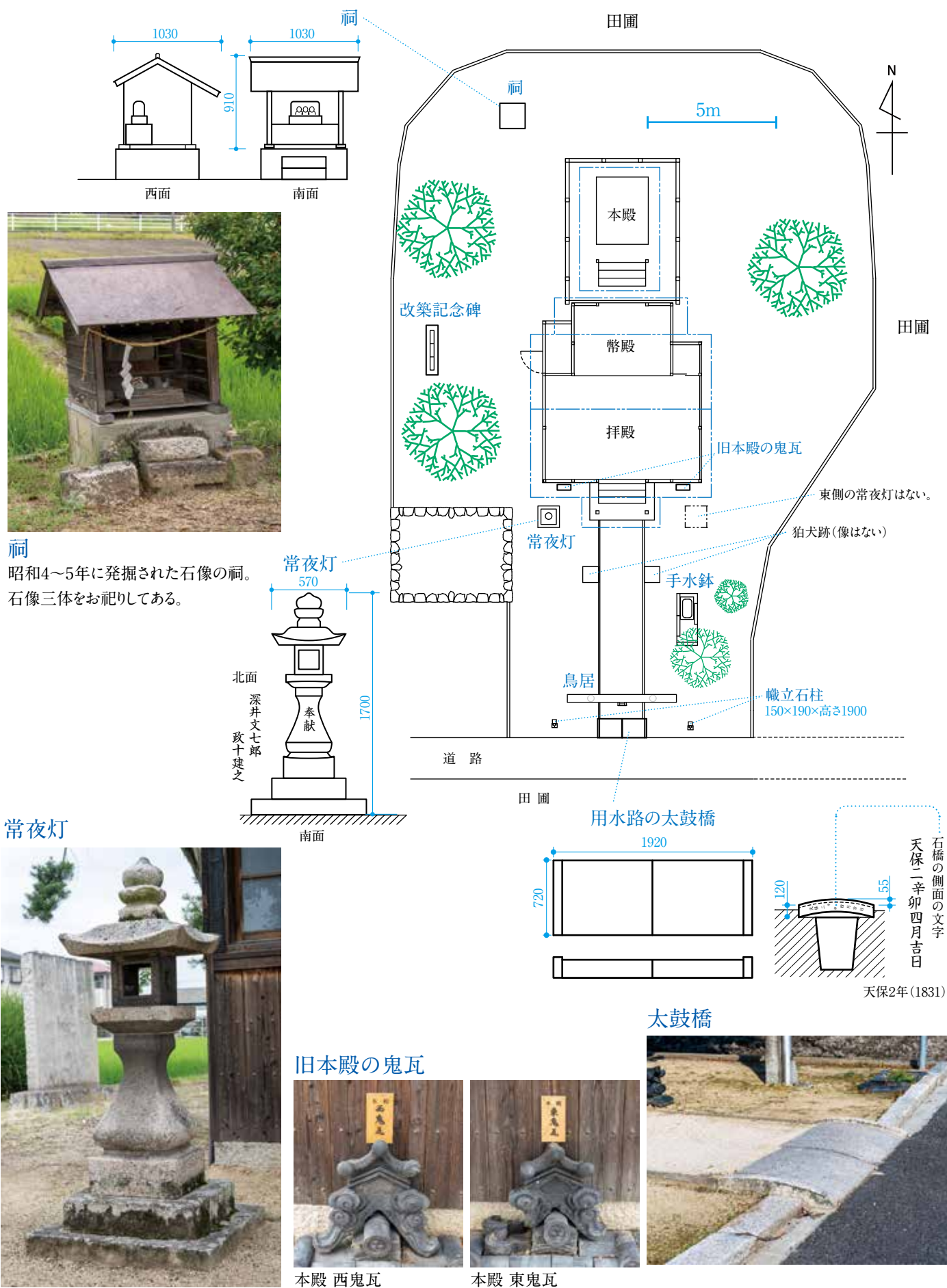
由緒沿革

当神社は、京都の石清水八幡宮と深い関係があったため、現在でも、地元では「石清水八幡宮」と呼ぶ人もいる。

昔は神仏混淆であり、戦時中神社の改修時に3体の古い石像が発掘され、境内に社と石碑をたて丁重に祀った経緯がある。

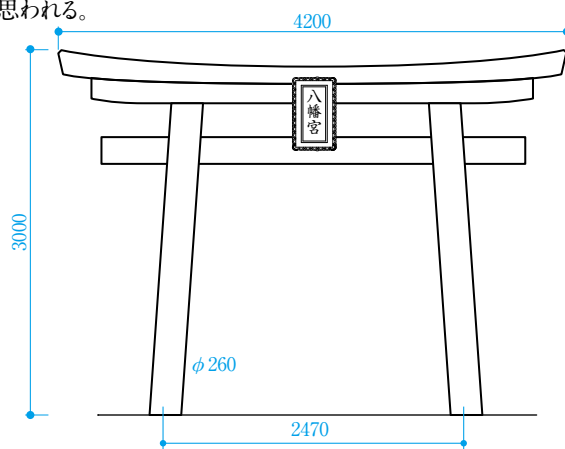
創建は1334年(建武年間)頃で、備前国旧藩主池田家文庫本に津高郡白石村鎮座八幡宮とあり、建武年間の勧請と伝えられている。明治12年(1880)に村社に列格した。(森安 哲彦)







この地域では、全体が完全な状態で保存されている鳥居である。
銘はないが門前の太鼓橋(天保2年)と同時期に奉納されたと
思われる。



皇紀2600年(昭和15年)の改築工事に寄せられた
寄進者の名簿

[illegible]